

さようなら！入山辺線

館報
いりやま

平成 29 年 3 月 1 日 現在

世帯数 882 戸
 男 998 人
 女 1,054 人
 総人口 2,052 人

平成 29 年 3 月 31 日で廃止になる入山辺線は、昭和のはじめ（昭和 5 年の時刻表に記載）アルピコ交通調べ）から約 90 年間地域の足として利用されてきました。

平成 28 年 4 月、アルピコ交通から松本市に対して、9 月末を目途に廃止する申し入れがありました。松本市交通安全・都市交通課の地元説明を受け、6 月に交通対策協議会を立ち上げ検討を開始しました。7 月中旬には、641 世帯にアンケートを実施し、542 世帯から回答があり（回収率 84・6%）、入山辺線に替わる交通手段が必要と回答した世帯が 441（82%）ありました。（アンケートの詳細は公民館報 412 号参照）

アンケート結果を基に、通勤・通学・通院・買物を考慮し、ルート調査を行い、運行計画を作成し、町会長さんが住民の皆さんに説明を行い、意見

●通勤・通学便（月～金曜日：大和合～バスターミナル北（西友元町店））

行き (松本方面)	大和合	6:30	7:18	帰り (入山辺方面)	バスターミナル北	18:00	19:40
	西友元町店	6:55			大和合	18:38	20:18
	バスターミナル北		7:55				

●通院・買物便（3ルートに分け、曜日別に運行）

【南ルート（火曜日）】

行き	南ルート		中央ルート			
	大仏公民館	8:30	10:00	牛立	8:37	10:07
	B T 北	9:20	10:50	B T 北	9:20	10:50

北ルート

駒越	8:32	10:02
B T 北	9:20	10:50

※BT：バスターミナル

利用料金
 ・一般（中学生以上） 300円
 ・子ども（小学生） 100円
 ・福祉100円バス券対象者 100円
 （バスの提示が必要）

【中央ルート（月・水・木曜日）】

【北ルート（金曜日）】

帰り	南ルート		中央ルート					
	B T 北	11:20	12:50	16:30	B T 北	11:20	12:50	16:30
	大仏公民館	12:10	13:40	17:20	牛立	12:03	13:33	17:13

北ルート

B T 北	11:20	12:50	16:30
駒越	12:08	13:38	17:18

集約をして、最終の運行計画がまとまりました。

運行内容は、通勤・通学便は、1日4便（朝夕運行、行き2便、帰り2便）、マイクロバス（29人乗り）で週5日運行。

通院・買物便は、1日5便（日中運行、行き2便、帰り3便）、ジャンボタクシー（9人乗り）で、入山辺地区を3ルートに分けて曜日別に運行するものです。

交通対策協議会を5回、小委員会を6回、現地調査を10回以上実施して、4月3日の運行開始の運びとなりました。

雨水害対策の補助制度

平成 28 年 1 月の雨水により被害を受けた森林では、一部で治山事業等による復旧作業が行われていますが、森林所有者の皆さんが行う小規模な倒木の撤去等に対して補助金が支払われるものです。

補助率：復旧に要する経費の 50% 以内

条件：雨水による被害であることが確認でき、作業を業者等に委託して行うもの

雨水に関する倒木整理・除去等の作業に幅広く使える補助制度です。ご利用ください。

松本市役所農林部
 耕地林務課 ☎(34) 3224

地域主導型公共交通であることから、多くの皆さんにご利用いただき、また、ご意見をお聞きして、利便性の向上を図りながら、入山辺地区の足となるよう、皆さんのご協力をお願いいたします。

（入山辺線公共交通協議会）

2月27日に関連文化財群講座を開催しました。平成25年度から歴史文化基本構想の提唱により、入山辺地区の文化資産の洗い出しや分類を経て、今年度までに関連文化財群を8項目にまとめました。今回は老政会と共催で、関連文化財群の策定に尽力いただいた大島正人先生、宮坂昌憲先生、百瀬秀夫先生に講演いただき、54名が参加しました。

関連文化財群講座を開催しました



【参加者からの感想】
石像物等の文化資産がある理由や、こういった経緯でできたかなどについて「なぜ？」と疑問を抱いていましたが、今回の講座で理解することができました。

100年先の人が地区文化財の歴史や背景等を知ることができるよう後世に伝えるとともに、入山辺地区の日々の記録を残していくことが必要だと感じました。
(西桐原大澤徳次)

**こんな山辺に
するじゃん会の取組み**

入山辺地区の将来ビジョンを考える会(愛称 するじゃん山辺)にするじゃん会が発足して6年目を迎えました。「住んでみたい、訪れてみたい、入山辺」を目指して、地域の魅力を地区内外に発信しようとする様々な取組みをしています。

現在の定例会は原点回帰をしようということで、入山辺地区の魅力や課題、やってみたいことについてグループに分かれて話し合っています。今年度、会が実施した活動



の中から2つの取組みについて紹介します。

① 複数集落案内板の設置

2箇所に、複数集落の場所を表示した案内板を設置しました。災害時・緊急時の車両や、観光に訪れたドライバーから一目で集落の位置がわかるようになります。



② ホームページの更新

左記のとおり会のホームページを更新しました。地区の伝統行事等についても掲載していますのでご覧ください。



するじゃん新聞 検索

こんな山辺にするじゃん会は、各種団体役員だけでなく一般の方も多数参加しています。「入山辺のことについて一緒に話したい!」という方はお気軽にご参加ください。

こうや豆腐を使った料理教室

2月23日に旭松食品株式会社さんを講師に招いて、料理教室を開催しました。農村女性委員会や男の健康料理教室と共催で行い、23名の参加がありました。高血圧の予防やコレステロール値等を下げる効果があるとされている「こうや豆腐」の魅力を楽しく調理しながら学びました。



なぜだろ? 科学体験館

2月25日に子ども会育成会と共催で科学体験教室を開催しました。大人を含めて21名の参加があり、科学体験と工作体験を行いました。工作体験では、スライム、ブーメラ、ベンハムのコマの3つを作りながら、科学の不思議を見て・触れて・考えて体験することができました。



入山辺地区人権啓発推進協議会の取組み紹介

入山辺地区人権啓発推進協議会では、時代や社会情勢の変化に伴い多様化している人権問題を正しく理解し、すべての人々の人権が公平に尊重される地域づくりの推進に向けて取組んでいます。今年度は、下記の内容で視察研修と講演会を実施しました。人権は子ども達の生活にも影響を及ぼすことがあります。他人ごととせず、積極的に人権の取組みに参加して関心を持っていただければ幸いです。

2月12日に上田市にある無言館を視察しました。右写真は入口にある「記憶のパレット」という慰霊碑で、戦没画学生約400名の名が刻まれており、作品等を通じて戦争の残酷さや平和の尊さを学びました。



2月21日には松本大学の眞次宏典先生を招いて、個人番号制度(マイナンバー)の講演会を開催しました。今後、個人情報はどうのように発展し、マイナンバーカードはどのような活用方法が検討されているのか学習しました。